



あやめ原こども園
令和2年2月

朝晩の寒さがひとときわ身にしみます。それでも、梅のつぼみは春の日ざしを感じて少しずつ膨らみ始めました。子どもたちは、白い息を吐きながら園庭でマラソンの練習を頑張っています。

寒さや乾燥が気になるこの時期、咳や鼻水のでる子が増えてきました。うがい、手洗いを忘れずに行い、たっぷりの睡眠とバランスのとれた食事で予防を心がけていきましょう

保育目標

- ・冬の健康生活に留意し、健康で安全に過ごせるようにする
- ・寒さの中でも、戸外や室内で元気に遊ぶ

☆お願い・お知らせ☆

○2月14日(金)「写真撮影」

全児、体操ズボン・白のシャツ又はブラウス・白靴下で登園をお願いします。
(園で、園児服を着用します)

○2月22日(土)「マラソン大会」(場所：都城運動公園 陸上競技場)



★前日に発熱・腹痛・嘔吐・下痢・湿疹等、普段と変わった様子がありましたら、登園時に、必ずお伝えください。



感染症の疑いもありますので早めの受診・休養のご協力をお願い致します

薄着を心がけましょう!

寒さが厳しいと、つい厚着をさせがちですが、室温や子どもの活動量を考えて、調節しやすい衣服を準備してあげましょう



マラソンの練習もありますので、吸湿性があり、動きやすく脱ぎ着しやすい素材のものをお願いします。汗ふきタオルも引き続き持たせて下さい。

日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	節分・体操教室
4	火	英語教室
5	水	
6	木	体操教室
7	金	交通安全教室
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	英語教室
13	木	体操教室・お弁当の日 (マラソンリハーサル)
14	金	写真撮影(10:00~)
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	英語教室
19	水	誕生会
20	木	体操教室
21	金	
22	土	マラソン大会
23	日	
24	月	
25	火	英語教室
26	水	
27	木	体操教室
28	金	
29	土	

子どものことを知っていますか?

～ほめる・叱る意義～

「たくさんほめて育てよう」「なるべく叱らないようにしよう」

そう思っても、現実なかなか思うようにはいきませんね。

つい他の子と比べてしまいほめることができなかつたり、家事や育児で忙しく、叱る事ばかりが増えてしまつたり……。

どうしたら、子どもの心に届くようなほめ方、叱り方ができるのでしょうか。

ここでは、心にとめておきたい、「ほめる・叱る」意義をお伝えします。

★ほめることで子どもに育つもの

～親子の安定した信頼関係のもと、精神的な土台が育まれます～

●自己肯定感

「自分は認められている」

「大切な存在である」

「ありのままの自分でいいんだ」と感じる心が育ちます。



●自分も人も大切に思える心

自分を好きになり、自分を大切に思えるようになります。

この思いは生きる力の根源となり、人の事も大切にできるようになります。

●挑戦する意欲

自分に自信がつき、色々な事に挑戦する意欲をもちます。

★叱ることで子どもが学ぶもの

～何がよくて何が悪いかに気づいていきます～

●社会で生きるために必要なルール

危険回避も含めて、社会で生きるのに必要なルールや約束事を知ります。

●集団の中でのふさわしいふるまい

人とつながるために、集団の中でのふるまいやコミュニケーションのあり方を学びます。

厳しい行動や冷たい言葉、力づくで手っ取り早く

人や物事を動かそうとすると、かえって人はかたくなる。

それよりも、あたたかくやさしい言葉をかけ、安心する状況をつくることで、人は自分から行動するようになるというものです。

子育ては決して、むずかしくありません。

私たちの心のなかに、子どもに寄り添う

あたたかな気持ちさえあれば、小さな芽は自分の力でやさしく、強く育っていきます。